

第39回原子力委員会定例会議議事録

1. 日 時 令和2年12月1日（火） 13：30～13：40

2. 場 所 中央合同庁舎第8号館6階623会議室

3. 出席者 内閣府原子力委員会
岡委員長、佐野委員、中西委員
内閣府原子力政策担当室
竹内参事官、實國参事官、北郷参事官

4. 議 題

- (1) 第21回アジア原子力協力フォーラム（FNCA）大臣級会合の開催について
- (2) その他

5. 審議事項

（岡委員長） それでは時間になりましたので、ただいまから第39回原子力委員会を開催いたします。

本日の議題ですが、一つ目が第21回アジア原子力協力フォーラム（FNCA）大臣級会合の開催について、二つ目はその他です。

それでは、事務局から説明をお願いします。

（竹内参事官）一つ目の議題の、第21回アジア原子力協力フォーラム（FNCA）大臣級会合の開催についてでございます。

それでは、事務局から御説明の方をよろしく願いいたします。

（北郷参事官）御説明申し上げます。資料第1号、第21回アジア原子力協力フォーラム（FNCA）大臣級会合の開催についてを御覧ください。

今回、新型コロナウイルスの流行下におきまして、実際の会合が、実会合としてFNCAの大臣級会合を開催することが困難であることを踏まえまして、テレビ会議の形式で12月10日に第21回を開催いたします。

会議はテレビ会合となりましたことを踏まえまして、短縮した形で開催いたしますけれど

も、今回は I A E A のグロッシェ事務局長を招聘して、I A E A における新型コロナウイルス感染症対策への取組をテーマに基調講演を行っていただく予定です。

また、その後、新型コロナウイルス流行下での原子力関連活動等の状況につきまして、カントリーレポートとして各国から報告を受け、また、会合総括として共同コミュニケを採択する予定です。

I A E A におかれましては、グロッシェ事務局長が、現在、Z O D I A C と言われる動物由来の感染症対策の強化に向けた取組を提案して、承認されたというふうに聞いておりますところ、これについて御発表いただき、F N C A と I A E A の共同会見の許可いただきたいと考えております。

すみません、本会でございますけれども、せっかく I A E A の事務局長から御講演いただけるということもございましたので、従前は大臣の挨拶のところまでプレスに公開しておりましたが、今回はグロッシェ事務局長の講演及びその質疑応答までの部分につきまして、プレスに公開してもらいたいと思っています。

以上でございます。

(岡委員長) ありがとうございます。それでは質疑を行います。

佐野委員からお願いします。

(佐野委員) どうもありがとうございます。

今回の F N C A 大臣級会合は、パンデミックの下でリモートの閣僚会議になるわけで、パンデミックの中にもかかわらず、事務局が鋭意取り組んで継続的に活動を行っていかうとするその意欲と努力にまず敬意を表したいと思えます。

それから、2点目に、F N C A は長く日本の主導でやってきたフォーラムで、特に近年、I A E A をはじめ国際的にもかなり高い評価を得ていると聞いております。そういう意味で、今回、初めてだと思うんですが、I A E A の新しい事務局長のラファエル・グロッシェ氏が基調講演をしていただけるということで、更にこれを F N C A の国際的な認知につなげていければ大変有意義だと思います。

それから、3点目に、中身についてはやはりパンデミックの下で、各メンバー国がどのような活動をしているか、また、F N C A 本来の活動の進捗についても大変興味深く拝聴したいと思えます。ありがとうございます。

(岡委員長) 中西委員、いかがでしょうか。

(中西委員) どうも御説明ありがとうございます。私もこれだけ長く F N C A が続いている

ということに非常に敬意を表したいと思います。

中身につきましては、今回も審査を行いますけれども、アジアでなければならないことというのは、いろいろあると思うんです。モンスーン地帯とか、ほかの気候とは違った、いろいろな応用面もあると思いますので、そこら辺のアジアということの特徴が出るような会合になればいいなと思っています。どうも、非常に事務局、大変だと思いますが、よろしく願いいたします。

(岡委員長) 準備をありがとうございました。

I A E Aのアジア各国の原子力協力のR C Aは、I A E Aから支援してもらって活動していますが、このF N C Aは参加国がお互いに資源を持ち寄って活動するという、非常に先進的な仕組みであります。

今回はパンデミックにも関わらず開催で、しかもI A E Aのグロッシー事務局長が講演されるということで、会議が成功裏に終わるものと期待しております。

関連して申し上げます、このF N C Aは研究開発機関を中心とした活動ですが、先日インドネシアで、インドネシア原子力庁、B A T A Nの協力を得まして、両国の大学と原子力研究開発機関が参加するシンポジウムを行いました。そういうふうには人材育成の面でも、F N C Aの協力活動が広まると、研究開発だけではなく、人材育成と交流、優秀人材の獲得などの面でもプラスが生じると思いますので、このような活動も含めて、今後もF N C Aのネットワークを活用するとよいと思います。

また、F N C A賞の表彰もあると聞いていますので、研究協力の進展も期待します。私の方からは以上です。

先生方、何かご発言ございますか。

それでは、ありがとうございました。

議題1は以上です。

議題2は、原子力委員会の開催をお願いします。

(竹内参事官) 今後の会議予定について御案内いたします。

次回原子力委員会の開催につきましては、日時、12月8日13時から、場所、8号館6階623会議室、議題は調整中で、後日、原子力委員会ホームページ等の開催案内によってお知らせいたします。

(岡委員長) ありがとうございます。そのほか、委員から何か御発言ございますでしょうか。

それでは御発言がないようですので、これで本日の委員会を終わります。ありがとうございます

いました。